

平成 26 年 1 月 24 日

B023「腹膜播種を伴う胃癌に対する一次治療としての S-1／オキサリプラチン＋パクリタキセル腹腔内投与併用療法」（東京大学医学部附属病院）についてのコメント

佐藤 雄一郎

本日の先進医療技術審査部会を欠席させていただきますので、書面にて、倫理的観点からコメントを提出させていただきます。

説明文書については、用いる医薬品が未承認であることの説明箇所を変更していただく（前に持ってきていただく）ように指摘し、それに従った改訂がなされました。補償は、病院の賠償責任保険を使うことになっています。治療性のある研究で、抗がん剤という特殊性もあり、やむを得ない対応かと思えます。その他、患者相談などについては適切であろうと考えます。

以上のことから、倫理的には本件を認めることに差し支えはないものと判断いたしました。

以 上